

求む！あなたのUD

～ 三世代、みんなが安心して暮らせる佐賀県のために～

第4回 佐賀県ユニバーサルデザイン(UD)大賞

佐賀県UD大賞の概要



高齢化

社会状況の変化



障害者の社会参加



生活者ニーズの多様化



国際化

県民の皆さんの、年齢・性別・障害の有無・国籍などの
違いにかかわらず、暮らしやすい社会の実現に向けた
取組を募集します

表彰

UDの取組について、
より多くの県民への普及・啓発を図ります

過去の表彰事例

H19大賞 NPO法人市民生活支援センターふくしの家 「困ったニーズにこたえられる子育て支援事業所づくり」

早朝夜間の預かり
病中・病後児保育
障害の有無にかかわらない統合保育 など、
誰もが安心して利用できる託児サービスの提供を展開

H20内閣府バリアフリー・UD推進功労者表彰
「内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞」を受賞

H20大賞 有田焼卸団地協同組合 「匠の蔵 ・ 極上のカレー皿」

UDを取り入れたカレー皿を開発。
誰にでも、すくいやすく、持ちやすい
・皿底のふち周りがすくいやすい角度
・幅の広いリム（縁）があり持ちやすい
シンプルで、誰にでも受け入れられるデザインである



H21の応募・審査方法の改正点

1. 応募しやすくするために分野別に例示を設ける

【まちづくり（例）】

車いす利用者と徒歩の人が、一緒に楽しめるような公園を作った

【ソフトづくり（例）】

商店街で妊産婦や高齢者等が手ぶらで帰れる荷物配送サービスをはじめた

【ものづくり（例）】

色弱の人にも見やすく分かりやすい案内板を作った

【意識づくり（例）】

学校の授業で高齢者と交流したり
高齢者模擬体験をした

2. 多くの方に応募してもらうためのしくみづくり

応募用紙のUD化

- ・ 分かりやすくシンプルに（記入例の提示・写真等で代替可）
- ・ 視覚障害者のための音声コードを付加

市町に積極的に働きかけ、更なる対象者の掘り起こしを図る

3. より優れたUD選定のための審査方法の見直し

多様な分野の取組を平準化し審査

最終選考前に実態調査を実施（現地調査・ヒアリング等）

採点前に選考委員間の意見交換の時間を設ける

募集期間・対象など

募集期間

8月6日（木）～11月10日（火）

募集対象

年齢・性別・障害の有無・国籍などに関わりなく、暮らしやすい社会の実現に向けた取組

県内の個人・企業・団体・CSO・市町など（国・県を除く）の取組であること

原則として、実際に活動等をされていること

過去に応募された取組も発展させて応募可



例) 車いすユーザーやこども等によるワークショップでだれもが利用しやすい公園へ

選考方法

「佐賀県ユニバーサルデザイン大賞選考委員会」において審査（佐賀UD推進会議委員・アドバイザー7人）

表彰方法

平成22年3月に開催する「UD全国大会プレ大会（仮称）」において表彰

Ｈ22年12月に佐賀県で全国大会を実施します

UD全国大会の概要

- 1 名 称** 第5回ユニバーサルデザイン（UD）全国大会
- 2 目 的** 佐賀県内の取組を全国に向けて発信するとともに、UDに対する理解を深め、UDの一層の推進を図る
- 3 開 催 日** H22年12月21日（火）・22日（水）
- 4 開 催 地** 嬉野市（嬉野市内の旅館、ホテル）
- 5 参加者数** 延べ1,000人程度（県民、企業関係者、団体関係者、行政関係者など）
- 6 内 容** 基調講演、分科会、パネルディスカッション、交流会、現地視察、UDの取組や製品の展示等

皆さまのご応募お待ちしております

応募先・お問い合わせ先

佐賀県 健康福祉本部 地域福祉課



さがユニバーサルデザインラボ

<http://www.saga-ud.jp/>

検索

